

「超老芸術」をはじめとした市井の高齢者による芸術表現の魅力を紹介しながら、超高齢社会における文化芸術の可能性について語り合います。豊かな人生を送るためのヒントが詰まっています。

進行 柳野 眞正 アーツカウンシルしずおかチーフプログラム・ディレクター



**柳野 眞正**  
美術評論家  
1975年生まれ。著書に『今日の世界美術』(BankART1929、2008年)ほか、『共同通信』で毎日世界を連載しているほか、読者の会主催の企画も手がける。現在、秋田公立美術大学大学院准教授、東京藝術大学大学院総合研究科芸術専攻テクニカル・インストラクター。



**上田 優奈代**  
芸人、読書家、チーフプログラム・ディレクター  
1969年長野生まれ。3歳より所作、17歳から美術をはじめ。2001年「ことばを人生の味方に、読書家宣言」、2003年、大阪・新世界で喫茶店のふりきしたアートNPO「コロルム」を立ち上げ、着替へ移転し、2012年「歳々美術大学」開講、2016年ゲストハウスのふりもはじめ、着替のあじさんたちとの井戸掘りなど、あの手この手で地域との協働をはかる。



**エドワード・M・ゴメズ**  
美術評論家、キュレーター  
雑誌『Art Journal』の副編集長であり、スイス・ローザンヌにあるアール・ブリュット・コレクションの運営委員会メンバーを務めている。イギリスのアウトサイダー・アート専門誌『New Vision』の編集に携わり、同誌をはじめ、『New York Times』や『Afterall』、日本経済新聞社の英字版『Nikkei Asia』など多くのメディアでの執筆を行っている。

関連セミナー

# 超老芸術は「文化」だ!

## 超高齢社会における文化芸術の可能性

令和5年 **10月8日(日)**  
13時30分~15時

受付13時より **参加無料**  
会場:グランシップ2階 映像ホール  
定員:先着80名(要事前申し込み)

◀お申込はこちら



Peatixのお申込みが難しい場合は、アーツカウンシルしずおか (info@artscouncil-shizuoka.jp)へ氏名・連絡先・住所を記入の上お申し込みください。

**メタバース 超老芸術展**  
ART OF THE AGED  
メタバース空間上に超老芸術展が出現!世界各地からアクセス可能!12月公開を予定しています



**グランシップ** 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口より徒歩3分
- ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分
- ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間、JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- ・車では東名高速道路静岡ICから20分、日本平久能山スマートICから10分、静岡バイパス千代田上土ICから10分。

お問合わせ

アーツカウンシルしずおか  
ウェブサイト ▶ <https://artscouncil-shizuoka.jp/choroten/>  
電話 ▶ 054-204-0059(平日9:00~17:00)  
メール ▶ [info@artscouncil-shizuoka.jp](mailto:info@artscouncil-shizuoka.jp)



# 超老芸術展

ART OF THE AGED



令和5年 **10月3日(火)~10月8日(日)** 10時~17時 (最終日16時30分閉場) **入場無料**

グランシップ6階 展示ギャラリー(静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号)  
主催:アーツカウンシルしずおか  
共催:東アジア文化都市2023静岡県実行委員会





**お尻**  
パラダイス  
清水 信博  
(1950-)  
鳥根県

一ツ柳 外史春  
(1949-)  
長野県

ミクロの  
**海物語**

長 恵  
(1942-2021)  
広島県

段ボールに舞う天使

原体験から生まれた  
**極小表現**  
増田 喜良  
(1952-)  
静岡県

**満州**  
ポップ画紀行  
林田 嶺一  
(1933-2022)  
北海道

小さな  
**鉛筆の**  
特大ドローイング  
井上 優  
(1943-)  
滋賀県

ベッドの下の**宝物**  
浅原 きよ系  
(1921-2023)  
静岡県

労働の生産点から  
生まれる絵

ガタロ  
(1949-)  
広島県

**超老芸術展**  
ART OF THE AGED

自分のために  
描く日々

記憶を綴る  
**紙芝居**

田中 利夫  
(1941-)  
埼玉県



国谷 和成・みよ子  
(1943-)  
(1946-)  
石川県

**二人三脚の**  
折り紙細工

玉城 秀一  
(1946-)  
沖縄県

枯れない  
盆栽

舞い上がり  
**バルーン**  
近藤 正勝  
(1945-)  
静岡県

木仕が  
工掛ら  
細けく  
工のり

Boss  
(1945-)  
熊本県

瀧美 圭亮  
(1947-2010)  
静岡県

獣人像  
梱包材から  
生まれる

堀江 日出男  
(1954-2023)  
大阪府

**創造主**  
スクラップ  
アンド  
ビルドの



**危機**  
を描く俯瞰図  
稲田 泰樹  
(1949-)  
静岡県

小楠 吉弘  
(1938-)  
静岡県

**自己救済**  
としての表現!

人生を  
**捧げ**  
創作  
見原 英男  
(1936-2023)  
静岡県

**肉体**  
に宿る  
美の発見者  
河合 良介  
(1927-2015)  
東京都



岩崎 祐司  
(1946-)  
静岡県

シヤレと  
**ユーモアの**  
「笑刻家」



本田 照男  
(1946-)  
静岡県

小八重 政弘  
(1954-)  
静岡県

愛しき  
**石よ**

総勢22組の表現者による  
1,500点以上の作品が集結

アーツカウンシルしずおかでは、高齢になってから、または高齢になってもなお、独自の創作を続ける高齢者による芸術表現を「超老芸術」と名づけ紹介してきました。今回は東アジア文化都市2023静岡県のプログラムの一環として、これまで取材発掘してきた県内の高齢芸術家だけでなく、全国各地で人知れず創作を続ける高齢者の芸術表現を世界に向けて発信します。会場に展示されるのは、いずれも専門的に美術を学んでこなかった人たちがばかりで、独学でユニークな創作を続けています。本展では全国各地から集めた22組の超老芸術家の1500点を超える作品を展示します。さらに有識者による関連セミナーやメタバース上での展覧会(12月公開予定)など、高齢者の芸術表現を体感できる内容になっています。